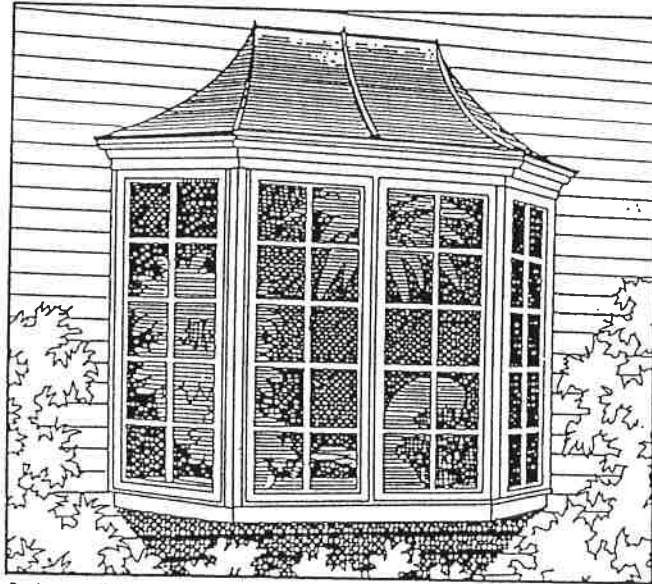


アンダーソン
ケースメント・ベイ・ウィンドウ
組み立て図

AWCMBAY

ADD A "BAY VIEW"



Roof not supplied by Andersen.

Open up your living with the beauty of an Andersen® Perma-Shield® angle bay window:

- Snug-fitting design
- Energy-saving High-Performance insulating glass
- Low-maintenance vinyl exterior that doesn't need painting
- Insulating wood core

Come home to quality Andersen.





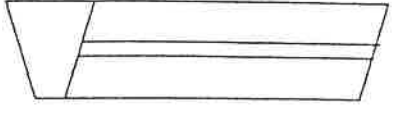
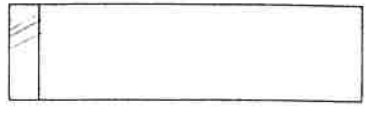
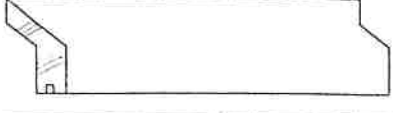
DEALER/CONTRACTOR

BB01

アンダーソン ベイ ウィンドウ出窓構成図

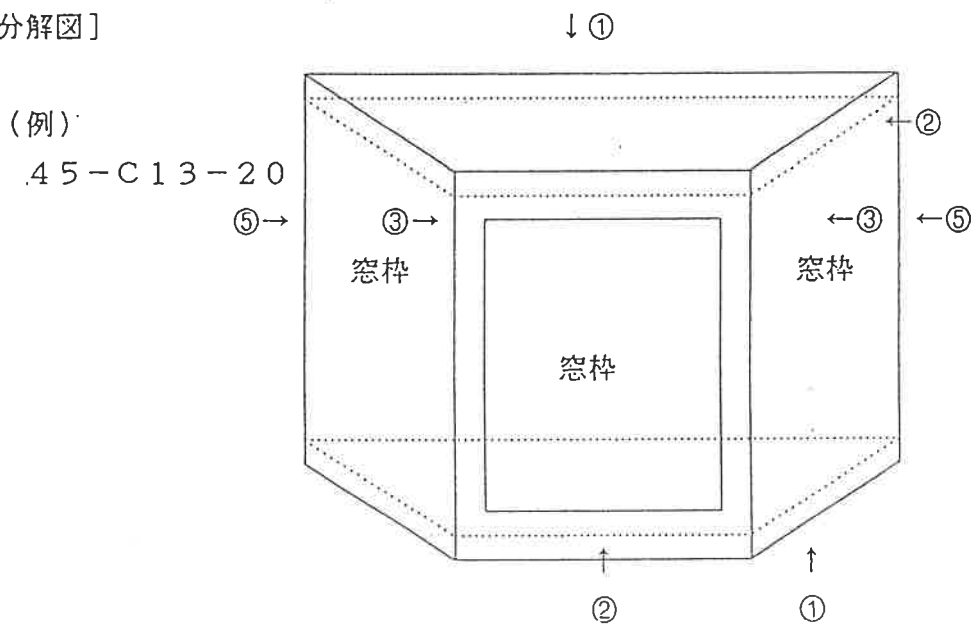
MA-F/AWCHBAY

[部材表]

部 品 名		形 状
①プラットホーム 2枚組 (天地構造板)	/組	
②ヘッド&シートボード (天地化粧板) 2枚組箱入り	/組	
③アングルベイポスト (連結継手)	2コ	
④マリオン・ケーシング (内側方立て)	2コ	
⑤サイド・エクステンション・ジャム (延長枠) 2本組	/組	

③④⑤はひと箱に入っています。⑤サイド・エクステンション・ジャムに付属の延長枠は別部品ですので利用ください。

[分解図]

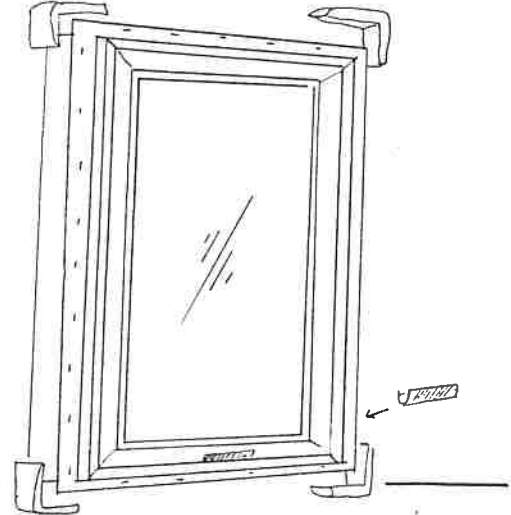


部品のおおよその取り付け場所を示しています。

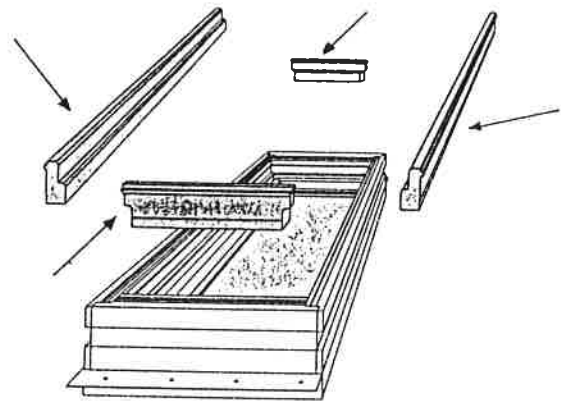
アンダーセン
ケースメント・ベイ・ウィンドウ
組み立て図

AWCMBAY

1. 組み立てを始める前にひととおりこの説明書をお読みください。また必要な部品がそろっているか、部品表を参考のうえ、確かめてください。
2. 窓枠本体4隅に取付けられているスチール製のクッションは全て取りはずしてください。



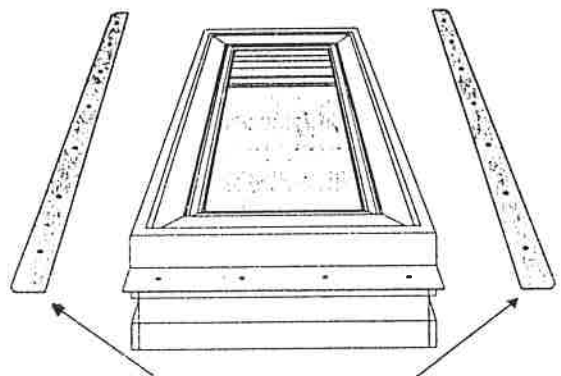
3. 窓枠本体室内側に取付けられている「押し縁」を全て取りはずしてください。天→地→左→右の順に取りはずします。出窓組み立て終了後「押し縁」は元どおりの位置に取り付けますので、紛失しないようにします。



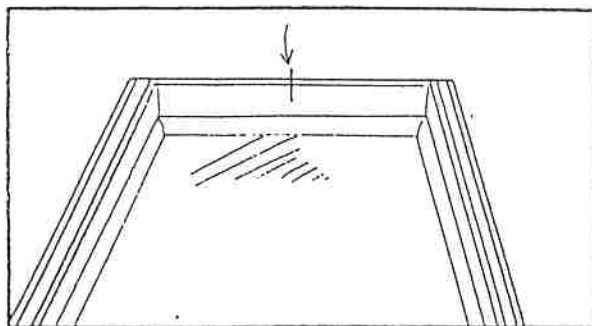
注意 「押し縁」は形状が同じでも、網戸取り付け用の穴があるもの、そうでないものが有ります。元どおりに取り付ける際、間違えないようにします。

4. 窓を連結する側（左右）のビニール・フランジ（ヒレ）を切り取ります。連結側以外のビニール・フランジを切り取らないように注意してください。

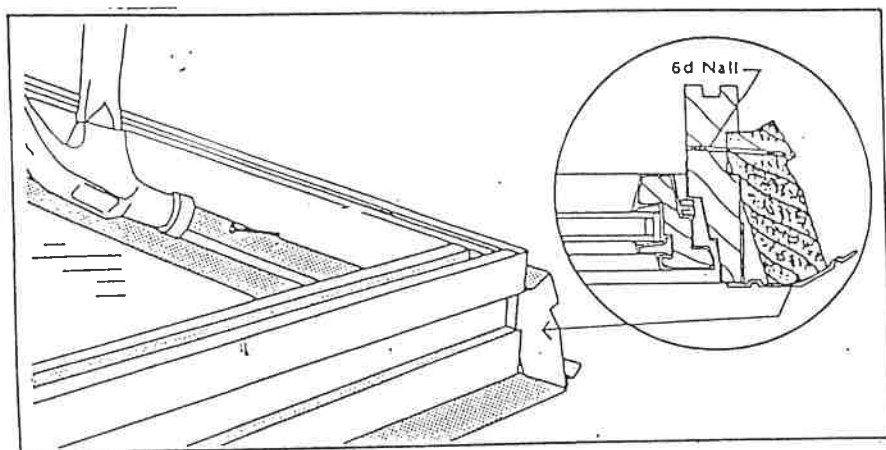
ポイント カッター・ナイフで筋を入れた後手の平で折り曲げるようにすると簡単に切り取れます。



5. 出窓の中央部分に当たる窓枠本体に中心線を入れておきます。



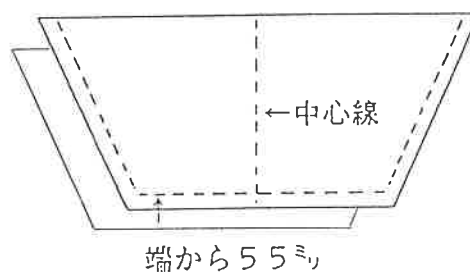
6. アングルベイ・ポスト (連結継手) を窓枠本体に取り付けます。約30ミリの釘を使用します。



7. フラットホーム (天地構造板・2枚組) を窓枠本体に取り付けます。

(手順1)

フラットホーム (天地構造板) に、「中心線」と、窓枠本体に釘を打ち付ける際に目安となる線をあらかじめ入れておきます。



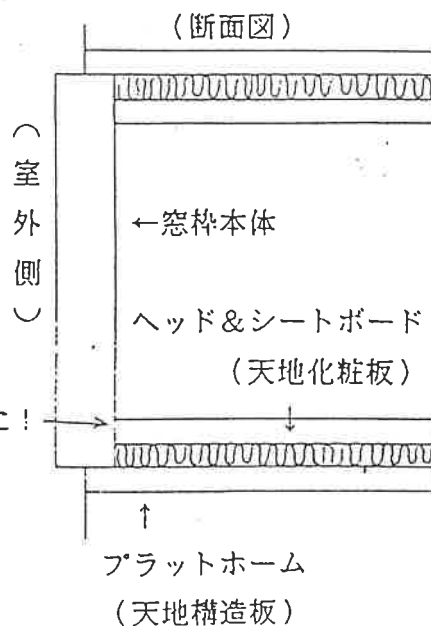
注意 フラットホーム (天地構造板) は2枚組で、釘により貼りあわさっています。

(手順2)

プラットホーム（天地構造板）を2枚に分解し中心をあわせて窓枠本体に仮り止めします。

ヘッド&シートボード（天地化粧板）を当てながら窓枠本体との間に隙間がでないように確認します。

隙間、がたつき がでないように！

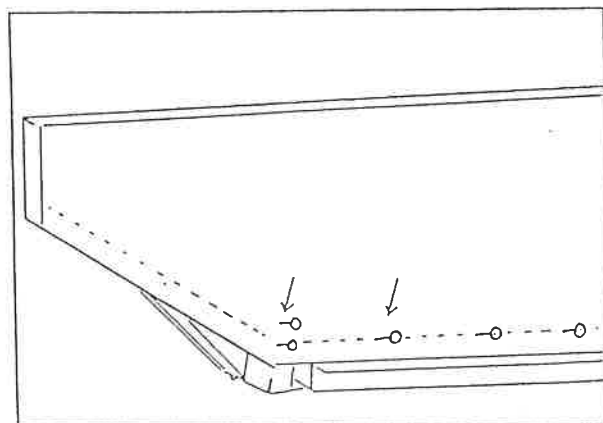


■ポイント■

ヘッド&シートボード（天地化粧板）と窓本体との間に隙間が出る様でしたらプラットホーム（天地構造板）を削るなどして調整してください。数mm程度の隙間は「押し縁」を取り付けた時に隠れます。

(手順3)

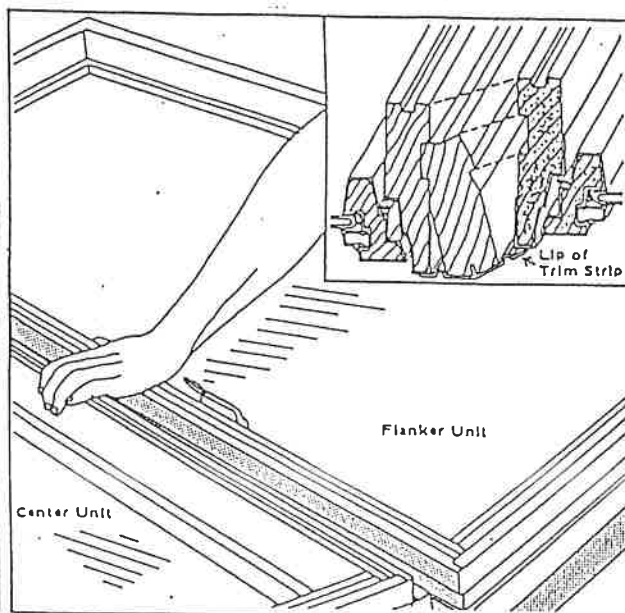
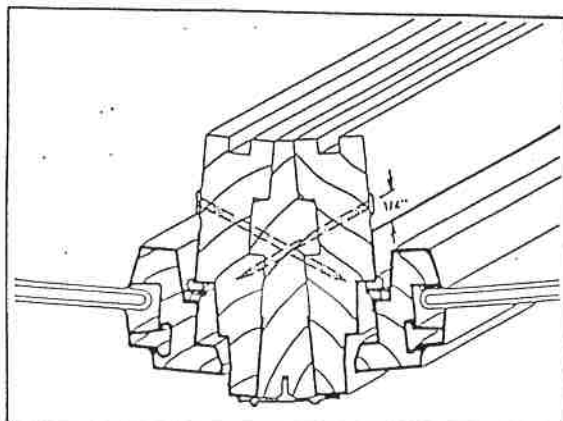
プラットホーム（天地構造板）と窓枠本体を、約50mm長の釘で固定します。（手順1）でプラットホームに引いた「目安線」に打ち込みます。アングルベイ・ポスト（連結継手）には約60mm長の釘を打ち込みます。



8. 出窓の中心となる窓枠本体とプラットホーム（天地構造板）が固定されましたら、同じ要領で右左の窓枠本体とプラットホームを固定します。

（手順1）

右、左の窓枠本体を、中心となる窓枠本体に既に取り付けたアングルベイ・ポスト（連結継手）にはめこむような形で固定します。



（手順2）

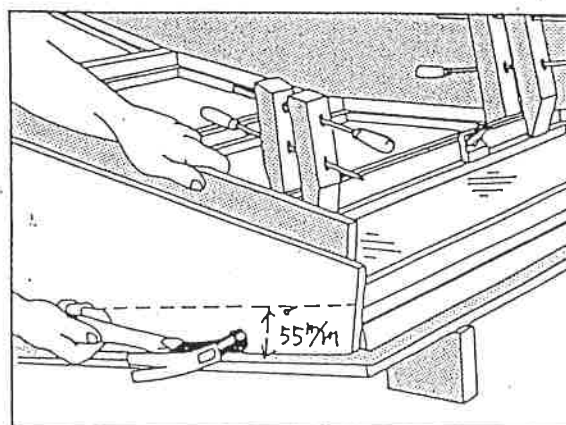
ヘッド&シートボード（天地化粧板）と窓枠本体との間に隙間がでないよう、確認します。

（手順3）

ヘッド&シートボード（天地化粧板）のおさまりが良ければ、プラットホーム（天地構造板）と窓枠本体を釘で緊結します。

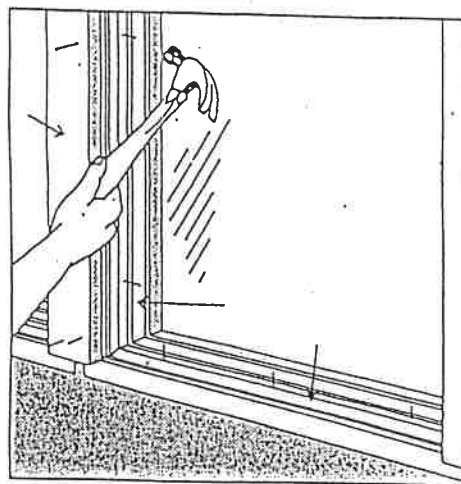
「7」の（手順1）のプラットホーム（天地構造板）端から55mmの目安となる線上に打ち付けます。

約55mm長の釘を使用し間隔は100mmとります。



■注意■ 55mm長以上の釘を使用しますと窓開閉の障害となります。出窓が完成しましたら開閉検査を行なってください。ヘッド&シートボード（天地化粧板）とプラットホーム（天地構造板）との隙間には端材や断熱材を入れます。

9. 室内側の窓枠本体連結部分にマリオン・ケーシング（内側方立て）を取り付けます。さらに「3」で取りはずした「押し縁」を取り付けます。釘で固定します。



注意 「押し縁」は形状が同じでも、網戸取り付け用の穴があいているもの、そうでないものが有ります。元通りに取り付ける際、間違えないようにします。

10. 組み上がりました窓枠本体は、窓台に取り付け、左右にエクステンション・ジャム（延長枠）を取り付けます。

11. 本体下部には4×4材で支えを行なってください。支えが有りませんと経年変化により窓が下がり、窓の開閉ができなくなることがあります。屋根部分は住宅外観デザインに合わせて設置ください。

